

※やまなし次世代林業推進事業 H30～H32（3年間）

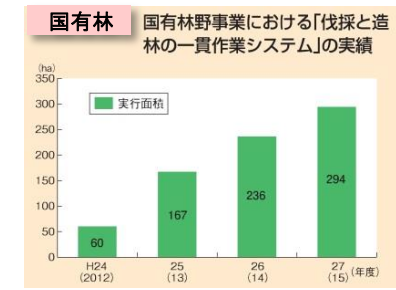
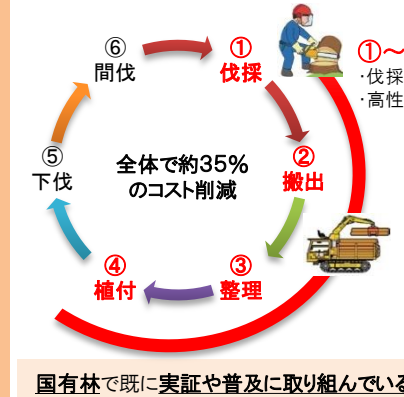
H30年度（計画） 82,861千円

- 一貫作業システム実証事業： 県内約4箇所 実施面積約13ha 伐採から植栽まで一括発注
- ICT等新技術導入： ドローン 3D地上計測器 現地研修会等

県有林が取り組む低コスト作業システム



国が進める低コスト作業システム



路網整備、高性能機械・コンテナ苗の普及、チップ材・大型工場需要など環境の変化



県有林で実践し、県内へ波及

導入後の定着による低コスト化	見込まれる低コスト化
調査	レーザー計測などICT技術活用により作業軽減
伐木・集材	高性能機械の同時作業と共有による効率化
運送費等	工場等直送による、市場委託手数料の削減
整理	バイオマス利用により、林内整理 棚積みが必要
植付	苗の植栽専用器具による作業能率向上
	<b>一貫作業システム等 約3割削減</b>



県有林において、先導的に低コスト作業システムを実践し、その効果を民有林を含めた県内全体に波及し、県産材の供給力を高め、林業の成長産業化につなげる